

令和7年度広島県子ども・子育て審議会（保育部会）議事要旨

- 1 日時 令和8年3月13日（金）10時00分から10時55分まで
- 2 方法 WEB会議（広島市中区基町10番52号 広島県庁本館5階）
- 3 出席委員 石田部会長、渡辺委員、三須委員、新谷委員、山中委員、山路氏（小野委員の代理人）
- 4 出席参考人 海田町こども課1名、竹原市健康こども未来課2名
- 5 議題
 - (1) 幼保連携型認定こども園の設置認可について（海田町）
 - (2) 幼保連携型認定こども園の廃止認可について（竹原市）
- 6 担当部署 広島県健康福祉局安心保育推進課
電話 082（513）3174（ダイヤルイン）

7 議事要旨

(1) 開会

部会委員総数6名中6名が出席しており、定足数を満たしていることを確認した。

(2) 議事

ア 幼保連携型認定こども園の設置認可について（海田町）

事務局から、令和8年4月1日付けで海田町に開所予定の幼保連携型認定こども園について、施設概要等を説明した。

【質疑応答】

- 新たに整備する園舎は災害時にもスムーズな対応ができる配置計画とし、既存園舎と連携した防災活動が可能な設計としたとあるが、具体的にお聞きしたい。

（海田町こども課）

地震火災については、既存園舎と新園舎を繋ぐ外構及びアプローチを一体的に計画している。また、新園舎のほふく室及び厨房にはそれぞれ園庭や外部へ直結しやすい位置に出入口を設け、スムーズな避難動線を確保している。

浸水については、垂直避難として新園舎に屋上を設けるとともに、既存園舎の外部階段に近い位置にほふく室からのサブエントランス及び配膳室の出入り口を配置し、既存園舎の屋上へスムーズに移動できる動線を確保している。

- 認定こども園に移行することでどのくらいの待機児童の解消が見込まれているか。

（海田町こども課）

人口推計としてここ10年人口が増え続けており、保護者の就労による1，2歳児の保育ニーズや3歳から5歳児の一時預かりの利用ニーズの高まりによる待機児童の増加が

見込まれるが、今回の幼保連携型認定こども園化により解消されるものと考えている。

- 管理栄養士、内科医、歯科医、薬剤師の配置はされているか。

(海田町こども課)

内科医、歯科医及び薬剤師を配置している。また、管理栄養士ではなく栄養士を配置している。

- 事業者の選定理由は何か。

(海田町こども課)

町内ですでに認可保育所や幼保連携型認定こども園を運営していること、既存施設の活用により施設整備にかかる費用が過大とならないことという点で評価を行い、事業者として選定した。

- 教育・保育の目標に「自然と遊び、自然にまなぶ 素直な強い子」と掲げられているが、自然を生かした特徴的な教育・保育内容はどのようなものがあるのか。

(海田町こども課)

園内での山羊や烏骨鶏の飼育、隣接地の畑の収穫や虫捕り、徒歩や園バスを使った園外保育などの実施により、自然に触れる機会を大切にした教育・保育内容となっている。

- 乳児棟を新設するという事は、今回の認定こども園の設置により乳児の保育を初めて行うことになるのか。

(海田町こども課)

設置者は運営する施設間で人事交流を行っており、今回の認定こども園では、新規採用職員の他に、設置者が運営する認可保育所や幼保連携型認定こども園で乳児の保育経験がある職員が従事することになっており、乳児の保育にあたって問題はない。

【諮問】

当該幼保連携型認定こども園の設置認可について、全出席委員が異議なしであったため、本議事は承認された。

イ 幼保連携型認定こども園の廃止認可について（竹原市）

事務局から、令和8年3月31日付けで廃止予定の幼保連携型認定こども園について、施設概要等を説明した。

【質疑応答】

無し

【諮問】

当該幼保連携型認定こども園の廃止認可について、全出席委員が異議なしであったため、本議事は承認された。

ウ その他

【質疑応答】

- 部会の開催時期だが、もう少し早い計画段階等で開催することは難しいのか。審議のプロセスも含め、検討してもらいたい。

- 利害関係までではなくても、委員が審議する園と関係がある場合の審議会の運営方法について検討してもらいたい。

(広島県安心保育推進課)

施設の運営面等について、委員の皆様から様々な御意見やアドバイスを頂くことも踏まえ、来年度以降、適切な開催時期や運営方法等を検討していきたい。

(4) 閉会